

非小細胞肺癌に対する Bevacizumab+CDDP+Pemetrexed療法

(ベバシズマブ+シスプラチン+ペトレキセド) RPHW_RPHW

2016年02月16日 承認
2022年02月14日 改訂(第2版)

Dr.sign

Ns.sign

Ph.sign

病棟・科名	登録番号 <<SYPID>>	氏名 <<ORIBP_KANJI>>	年齢 様 <<SYAGE>>	身長 cm	体重 kg	体表面積 m ²
疾患名	施行予定日 月 日 ~ ()	コース目	実施サイクル コース予定	【調製指示】 <input type="checkbox"/> 調製可 <input type="checkbox"/> TEL連絡後調製		
備考[標準投与量逸脱など]				放射線併用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

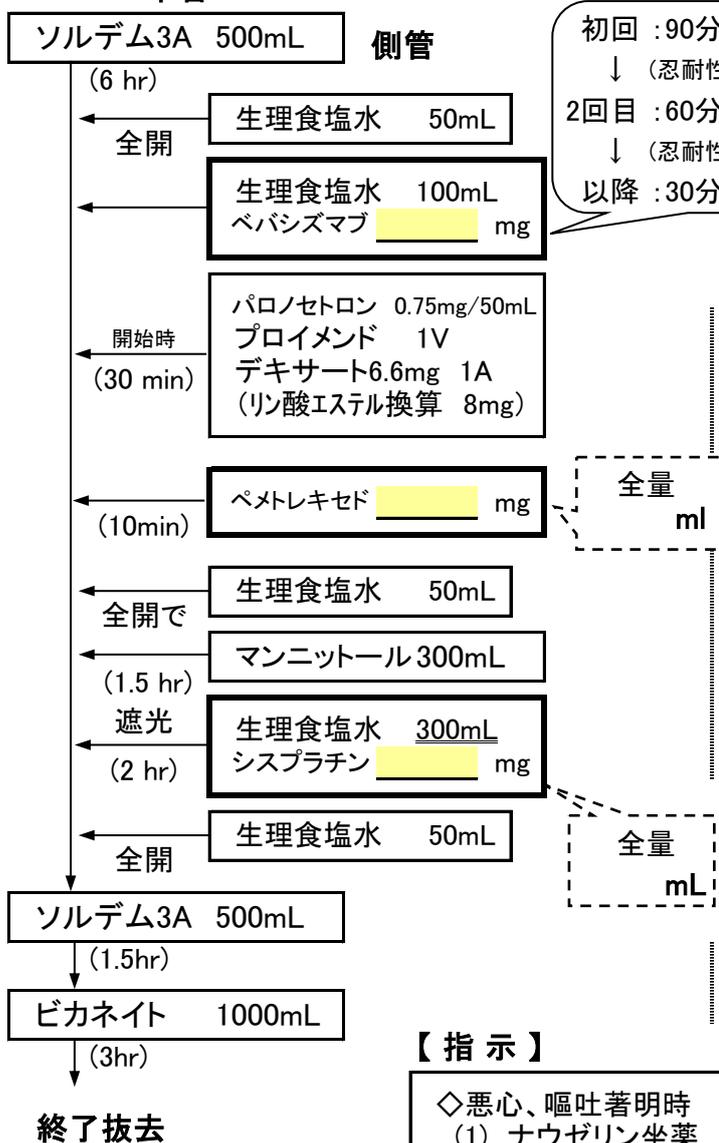
【必須項目】

- 投与7日以上前からパンビタン末1g 1×服用開始
- 初回投与の少なくとも7日前にフレスミンS注 1A筋注

Day1 (/)

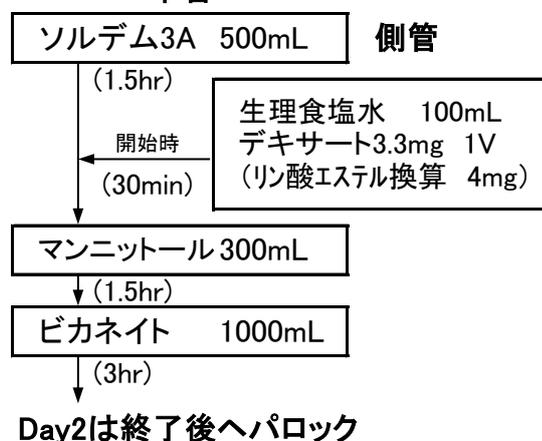
Day2 (/) ~ Day3 (/)

本管



初回 : 90分かけてdiv
↓ (忍耐力良好)
2回目 : 60分で投与可
↓ (忍耐力良好)
以降 : 30分で投与可

本管



【ペトレキセドの投与終了(中止)時の注意事項】

- (1) パンビタン末は、最終投与日から22日目まで可能な限り投与する。
- (2) フレスミンS注は、投与期間中および投与中止後22日目まで9週ごと(3コースごと)に1回投与する。

【指示】

- ◇悪心、嘔吐著明時
 - (1) ナウゼリン坐薬 60mg
 - (2) (1)で無効時、プリンペラン1A iv
- ◇吃逆著明時
 - (1) プリンペラン1A iv
 - (2) (1)で無効時、ランドセン 1.5mg 3×開始

Bevacizumab+CDDP+Pemetrexed療法

標準投与量:

Bev	15 mg/kg	day1
CDDP	75 mg/m ²	day1
PEM	500 mg/m ²	day1
3週毎		